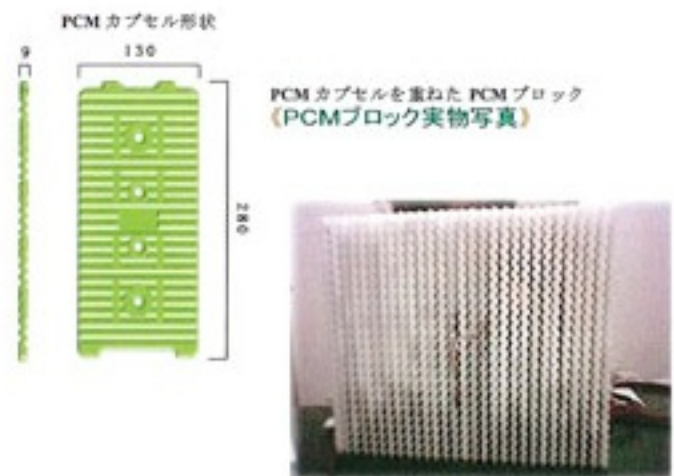


## 潜熱蓄熱材及び潜熱蓄熱材利用の省エネシステム

概要・品質・性能

潜熱蓄熱材を利用した省エネシステムの、研究開発の受託。潜熱蓄熱材（エネバンク）は化合物が固体から液体、液体から固体へと変化する際、大量に放熱・蓄熱する性質を持ち、少量で大きな熱量を一定の温度で蓄えることができる。エネバンクを板状の特殊ポリエチレン容器の中に充填し密閉した、PCMカプセルは効率よく熱交換してスムーズに蓄熱・放熱する高効率の蓄熱材であり、住宅空調分野、工業・農業分野等、様々な省エネシステム・製品への応用を見込まれる。

既に-18℃蓄熱材を利用した24時間全館空調システムが製品化され、一般住宅や老人ホーム等に採用されている。



用途

- (1) 一般住宅、医療施設、老人ホーム
- (2) 農業用、工業用

技術移転

- (1) 形態 部品・製品の供給、共同研究開発
- (2) 相手先 問わない
- (3) 地域 国内に限る

実用化・情報

[試作・実験] 完了  
 [製造・販売実績] 有り  
 [技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、サンプル  
 [情報提供者] (株)ヤノ技研  
 代表取締役社長 矢野 直達  
 [連絡先] (財)りそな中小企業振興財団 事務局  
 TEL.03-3444-9541 FAX.03-3444-9546

特許等

特許番号：特許第4022724号  
 登録日：平成19年10月12日  
 特許権者：(株)ヤノ技研、東京電力(株)  
 特許名称：「蓄熱カプセル」